

課題名：非アルツハイマー型認知症の新規治療薬についての研究

代表機関/代表者：東京都医学総合研究所 / 長谷川 成人
研究期間：令和6年度～令和10年度

研究開発目的

アルツハイマー病以外の認知症疾患の特徴病理を構成するタンパク質に作用して、そのプリオン様性質をブロックすると共に、正常型タンパク質を異常型に変換できないようにする全く新しい概念の治療薬を創出します。

取り組み

患者由来の異常型タンパク質をシードとして正常タンパク質が凝集する試験管、細胞、マウスモデルを駆使して検証を進めると共に、プリオン様増幅を阻害する治療薬を探索します。

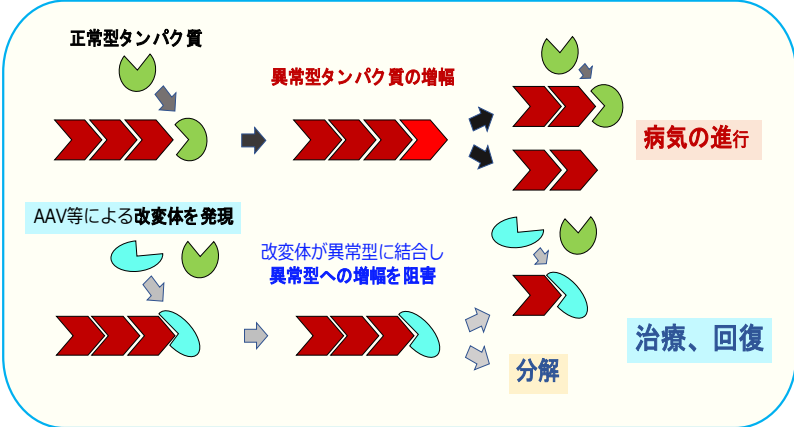
成果

ピック病(PiD)、大脳皮質基底核変性症(CBD)等のタウ線維、多系統萎縮症(MSA)等の患者由来の α シヌクレイン線維のプリオン様活性を抑制する改変体を培養細胞モデルにおいて見出しました。

今後の展開

マウスモデルでそれらの効果を評価します。

異常型タンパク質のプリオン様増幅と改変体による阻害薬



シード依存凝集を阻害する改変体の評価 (培養細胞系)

